

二宮町社会福祉協議会地域福祉活動計画の延長について

「二宮町社会福祉協議会地域福祉活動計画」（以下「町社協活動計画」）は、「支え合い、共に生きていく」という福祉のまちづくりの実現のため、平成 24 年 11 月に策定いたしました。

計画期間は平成 25～27 年の 3 箇年で、「ささえあう みんなのまち」をスローガンに、高齢者福祉の充実、福祉等ボランティア活動の充実、当会の組織強化の 3 つを重点にあげ、それぞれに属する 37 事業を推進してまいりました。

平成 27 年度をもって計画期間が終了することに伴い、本来であれば、第 2 期活動計画を策定・移行することとなりますが、現在、町が策定を進めている「二宮町地域福祉計画」（以下「町計画」）が平成 29～34 年度を計画期間としていることから、町社協活動計画は、以下のとおり取り扱うこととします。

1. 計画期間

地域福祉施策・事業の効率的な運営を図るため、町計画と足並みを揃え、町社協活動計画を 1 年延長し、平成 28 年度までとします。

2. 計画の内容

情勢の変化に即した新規事業を創設するとともに、既存 37 事業については、進捗状況に応じて対応します。

- ①新規事業 …… 介護保険制度改正を契機として、地域福祉に関する自主事業や、横断的組織体制整備を支援するため、平成 27 年度に創設した 2 事業を追加します。
- ②既存事業 …… 理事企画運営部会による進捗状況評価（平成 27 年 7 月実施：3 段階評価）をもとに、評価 1・2 の 10 事業については、それぞれ評価 3 を目指すこととし、評価 3 の 27 事業については、評価シートに記載された課題をもとに、目標の時点修正とフォローアップを図ります。

※別紙「地域福祉活動計画の事業一覧表」参照

3. 評価方法

平成 28 年 7 月頃に理事企画部会が実施を予定する進捗状況評価は、以下にもとづいて実施します。

- ①新規事業 …… 平成 27 年度実施分から評価対象とします。（創設・着手済）
- ②既存事業 …… フォローアップの内容を含めた達成度を評価します。

地域福祉活動計画の事業一覧表

重点1 高齢者福祉の充実

【●=重点目標 ○=可能な限り実施】

	事業名	目標	重点事業	フォローアップ内容
1	生活支援ネットワーク事業の充実	●	①11 地区社協のすべてからコーディネーターを配置する。 (コーディネーター20人体制の確立) ②利用者の支援は、利用者の住んでいる地区のサポーターで支援できる。 (サポーター100人体制) ③自立支援内容の充実。 ④コーディネーター、サポーター会議の定例化と研修の充実。 ⑤高齢者へのサービス一覧表の作成と周知。	①利用者数及びサポーター数拡大のため、支援内容を再検討する。(アンケート結果の反映) ②上記①に同じ。 ③上記①に同じ。 ④サポーター会議の定例化を図る。 ⑤同左【評価2】
2	高齢者サロン等見守り事業の推進	●	①全地区社協にサロン(居場所づくり)を立ち上げる。 ②地域に根ざした特色あるサロンづくりの推進。 ③世代間交流、生活支援の組み合わせ、意見交換の機会づくり。 ④安心電話等による見守り推進。	①ほぼ全地区にサロンが立ち上がったため、今後は活動内容の充実を図っていく。 ②サロン担当者交流会等により活動情報を共有化し、内容の充実を図る。 ③同左【評価2】 ④生活様式の多様化などに見合う重層的な見守り体制の確立を目指す。
3	アクティブ高齢者づくり事業の推進	●	①シニア層のボランティア活動や地域福祉活動への参加を支援し、元気な高齢者づくりに取り組む。 a. 町や各団体と、シニア層向け健康講座、趣味活動等について情報の共有化。 b. シニア層の活動の場の確保。 c. シニア層向けの意識改革やボランティア活動、地域福祉活動参加のための講座開設。	①2025年問題を見据え、以下のa.b.c.各項目の更なる取組みにより、支え合う地域の担い手としての高齢者づくりを推進する。 a. 行政と連携し情報の一元化を図りつつ、資源マップ化を目指す。 b. 上記a.に同じ。 c. 上記a.の取組みによる資源マップ化と情報提供を図りつつ、地域のニーズ確認も含めた活動を検討する。
4	緊急時対応体制の整備	●	①緊急通報システムの推進。 ②地区防災での地区社協の役割整備。 ③緊急時対応。 (町、社協、安心電話での安否確認)	①周知活動を継続し、件数増を目指す。 ②行政・自治会等との問題意識の共有により、地区社協の役割を明確化する。 ③関係機関の連携による見守りネットワークの構築を目指していく。
5	地域福祉自主事業の支援	●	①地域福祉自主事業支援制度の創設。 ②各地域における横断的組織立ち上げの検討・推進。	新規追加項目 ※事業は27年度から開始

重点2 福祉等ボランティア活動の充実

	事業名	目標	重点事業	フォローアップ内容
1	ボランティア活動の普及・啓発	●	①町ボランティア大学(入門講座・一般講座)の充実。 ②啓発活動の推進。(ボランティアニュースの発行/ホームページでの情報発信) ③ユース向け活動の推進。(中学生福祉体験)	①受講しやすい講座スタイルを検証しつつ、更なる充実を図る。 ②ボランティアニュースの発行が未実施であり、他市町の発行状況等を検証する。 ③未実施中学校へのアプローチを検討する。
2	ボランティア団体等の支援	●	①ボランティア連絡会の再結成。 ②登録ボランティア団体の育成と支援の充実。 ③活動紹介・広報活動の充実。(ボランティアニュースの発行/ホームページでの情報発信) ④当事者団体の支援体制整備。 ⑤当事者団体と登録ボランティア団体の連携。	①同左【評価2】 ②下記3-①～③に同じ。 ③下記3-①～③に同じ。 ④当事者団体の自立に向け支援を継続する。 ⑤下記3-①～③に同じ。
3	ボランティアセンターの充実	●	①ボランティアコーディネートの充実と情報発信力の強化。 ②ボランティアコーディネーターの育成及び配置。 ③ボランティアセンターの有効活用。	①～③ 重点1-3-①-aの資源マップ化と連動し、よりスムーズなマッチングを目指していくとともに、コーディネート業務のマニュアル化を図る。
4	災害ボランティアの育成・組織化	●	①災害ボランティアコーディネーター講座の実施と育成。 ②災害ボランティアリーダーの育成と支援。	①受講者増を目指して、講座スタイルの再検証を行う。 ②災害時における社協の役割を明確化する。

重点3

社会福祉協議会組織の強化

	事業名	目標	重点事業	フォローアップ内容
1	地域福祉活動の普及・啓発	●	①（仮称）地域福祉大学講座の企画と開催。 （地域福祉リーダーの育成、地区社協役員対象の講座実施） ②研修会の実施。	①同左【評価2】 ②同左【評価2】
2	町社協事務局組織の活性化・拡充	●	①現在の事業・活動の見直し。 （18事業の現状と課題抽出） ②人的確保の工夫。 ③職員研修計画。 ④勤務環境等の整備。	①同左【評価2】 ②同左【評価2】 ③同左【評価2】 ④給与規程の見直しなど、更なる環境整備を図る。
3	地区社協の機能強化	●	①地区社協の役割及び機能の明確化。 （行事主体から見守り・支えあい活動へ） ②組織を持たない地区社協への支援。 （問題点の抽出） ③自治会（町内会）、老人クラブ等の活動の洗い出しと役割の調整と見直し。	①地域包括ケアシステムなど、行政や自治会等との協働体制や、役割分担を明確化させていく。 ②同左【評価1】 ③同左【評価2】

準重点1. 子育て環境等の充実および発達障がい児福祉の充実

	事業名	目標	重点事業	フォローアップ内容
1	子育て環境の充実	○	①子育てボランティアの育成	同左
		○	①社協登録子育てボランティアの推進	同左
2	発達障がい児を抱える家庭への支援	○	①発達障がい児の理解促進 （ボランティア講座設定）	同左
3	発達障がい児団体等への支援	○	①保護者団体への支援 ②障がい者交流サロンの活用	同左